

# 風の流氷

【短歌】

楠瀬 兵五郎 選

藤色のベストは母の残ししもの寒さを弾く温もりがある  
 デイケアのひと日は楽し居並びて真剣に取る土佐弁カルタ  
 咲きさかる椿の花に大鳥も小鳥も騒ぐ冬の昼どき

有沢 泰子  
 門田 喜美  
 小野寺朱実

励ましの友の笑顔は忘れえず生きて来たのよ喜寿の年まで  
 畑仕事ひと日を終えて祈るかな鐘の静かにひびきくる中  
 実像を問へば意見は書けまいとひたすら綴る過去形ばかり

鍵山 春子  
 小原 子川  
 森本 幸美

病み妻に今日の問診幾日ですか付添い我も解らぬ老農  
 四月となり大雪降り山沿いは真白くなりてやはり傍原  
 星空を水面に映す物部川きらめきやまずこの夜半にさえ

高野 和一  
 岡村 和躬  
 山崎 貴子

どくだみを抜きし一隅の土匂ふその鮮烈にこころ洗はる  
 一筋の光求めて学校に理想を胸にさくら仰げる  
 精一杯生きる外なし御在所山は父のごと見ゆ母のごと見ゆ

谷内 務  
 公文 千恵  
 吉本 悦子

失いし力ギ見つかりしこの喜び祈りし後の神の恵みぞ  
 墓洗い知らぬ人も声かわす次次に来る彼岸の人ら  
 オレンジ色三十年変わらぬ水中花下されし方老いて病みます

小原 景守  
 伊藤 清子  
 古谷 由美

満開の桜の枝を揺らしつつヒヨドリここにも蜜を吸いおり  
 時どきに吾れ見て虫を食める鳥日ごと増えゆく若葉のしたに  
 花びえの言葉やさしもひと朝の霜にうたれしあはれ馬鈴薯

佐々木真里  
 都築 初代  
 小野川恵仁

正座して洗濯物は畳むもの正座出来ねば腰掛けてする  
 不確かな時代をまさに生きんとす就職二年目の息子にエール  
 幾重もの障害乗り越えて声はずむ想い強ければ願い叶いて

山崎かつみ  
 古川 安子  
 宮地 亀好

安やすと尾を振りてくる道の柵に山を離れて飼はるる猪ら  
 久々の畑に友らとよろこびて君の刈りたる草道下りる

小松もとみ  
 坂上のぶ子

日本を日本らしく伝ふるには政治と教育を変へねばならぬ  
 気心のもつとも知れし相棒のごとく庭木を刈り込む夫と吾  
 姥捨ては山から海へと変はりたり海辺に見事な老人ホーム

岡林 華伝  
 大石紗智子  
 山下 弓枝

開裂し赤き粒粒さらしたるその実匂はず粘りをもたず  
 予期せざる友の訃報を受けし時われは地下足袋鍬にぎり立つ  
 年重ね町の桜に幾度か手押車に今日花の下

佐竹 玲子  
 鍵山 みつ  
 有澤 春江

山の端も霧閉ざし来るひと時を解き放たれて鶯の鳴く  
 夕暮にふはりと咲くか紅しだれダム湖のほとり人影もなく  
 熱き湯をゆつくりコーヒーに注ぎゆき今朝の私にエンジンかける

町 耿子  
 法光院俊子  
 高橋 章

いつしかにうしろ手に立つこの姿祖母にも母にも似て来し吾か  
 血縁とは思議なものねと介護士が母へのスプーンゆづりつつ言ふ  
 今宵また悲しき語り歌にわが夫を偲びて時をとどめむ

松中 賀代  
 竹村 咲子  
 林田 幸子

定福寺詣でに行けばいちめんの「福寿草の里」花が耀ふ  
 路の辺に降りて尾羽を振るセキレイブレーキ踏みて飛ぶを見上ぐる  
 亡き人のみごと造りし公園に咲くつつじ待つ雑草をぬきて

北村佐喜子  
 武内 弘子  
 門田 明子

残されし白菜は田の花となり鋤き込まれゆくトラクターの下  
 配膳の時刻に肩を寄せ合ひて老いらは並ぶこの病棟は  
 花吹雪フロントガラスに舞ひ降りる並木の通り徐行をしつつ

大石 綏子  
 出原 久子  
 公文 正子

彼岸過ぎ氷は固き洗面器雪か時雨か三嶺暗く  
 畦に咲く紫雲英一株父の世の苦しき農を思へとごとく

西尾 玉喜  
 楠瀬兵五郎

※俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。詳細については  
 偶数月の広報に掲載しています。なお、選者の添削を不要とする方は添削  
 不要と記してください。

# 図書館だより

市立図書館

## 2009第51回こどもの読書週間

期間 4月23日～5月12日

標語「笑顔のヒミツは本の  
中」

春がいっぱいの本を展示  
しています。見に来てね。

### 新着本の紹介(市立図書館)

〔大人向け〕

- ▽三匹のおっさん (有川浩) ▽納棺夫日記 (青木新門) ▽プリンセス・トヨトミ (万城目学) ▽砂冥宮 (内田康夫) ▽学力と階層 (荻谷剛彦) ▽断る力 (勝間和代)

〔子ども向け〕

- ▽つみきのいえ (加藤久仁生) ▽はたらくじどう車スパーずかん全5巻 ▽ドラゴンライダー3ブリジンガ〜炎に誓う絆 (クリストファー・パオリニ) ▽妖怪アパートの幽雅な日常 ①〜⑩ (香月日輪)

「妖怪アパートの幽雅な日

常①〜⑩

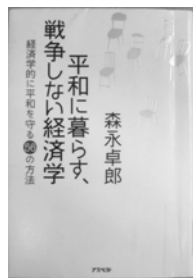
高校入学を機に一人暮らしを始めた夕土。そこは、ちよつと変わった人間と、気のいい妖怪・幽霊たちがフツに暮らすアパートだった。爆笑、涙、感動うずまく人気シリーズ全10巻が完結。何かおもしろい本ないかなと思っっている中高生



4/23～5/12

### おすすめの1冊

#### 平和に暮らす、戦争しない経済学 (作: 森永卓郎)



あまりにも新聞やニュースの経済面が理解できず、焦る気持ちもありこの本を手に取りました。私たちが毎日何気なく耳にしている情報の裏側にどんな意味があるのか、分かりやすく説明されていました。また、表には出ない真実や出来事が起こった理由、原因を一人でも多くの人を知っていくことがどんなに大切であるか分かりました。自分の今の生活に不満を言うだけでなく、より良くしていくには、まず知ること。そして何事も自分の頭で考えて、選択していく姿勢が必要だということを教えられました。

30代女性 (香美市勤務)

#### 香北分館からのお知らせ

日頃は図書館をご利用いただきましてありがとうございます。諸事情により、5月1日より12時から13時の間は図書館の業務を休みます。ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いいたします。

にお勧めです。もちろん大人にも。読めばきつとはまります。

## 吉井勇記念館だより

### 皇月コンサート

今年もヴァイオリンの野外コンサートを開催します。季節を感じさせる日本の歌の他、よく耳にする外国曲を演奏していただきます。また、現在開催中の「吉井勇特別蔵書展「暁」」の展示解説も行います。

山里でゆつくりと流れる時間と音楽を、心と体で感じてください。

#### 【日時】

5月17日(日)

・学芸員展示解説 13時～13時50分

・ヴァイオリンコンサート 14時～15時

14時～15時

#### 【場所】

吉井勇記念館

【参加費】

400円(入館料含む)

#### 【内容】

ヴァイオリン奏者：古江佐和子氏(猪野々在住)

演奏曲：涙そうそう、木星、こいのぼり他

7



#### 送迎バス運行表

(往) 香美市役所	12:00
健康福祉センター香北	12:20
奥物部ふれあいプラザ	12:40
(復) 吉井勇記念館 発	15:20

※バス利用希望者は5月13日(水)までに記念館までお申し込みください。

【送迎バス】  
定員25名

【問い合わせ先】  
吉井勇記念館  
☎ 58-2220

